一般質問

議席9番　内海　和子　議員

Q.境町独自の教育は

A.歴史での郷土教育や合唱などの情操教育など行っている

Q.小中学校の学力は

A.基礎的なことは理解度が高いが、応用力が課題だ。

Q.問題児への対応は

A.問題を持つ児童には特別支援の者もいる。

（20年度の報告書によると相談ごとの件数は1825回）

Q.町計画の男女共同参画の進捗状況は

A.参画プランについては22年度に見直しを、条例については検討中、その他具体策を検討中

Q.DVなどの相談窓口はあるのか。またその件数は

A.DVは2件で福祉課の窓口でやっている。

Q.まちづくり事業では環境に配慮しているか。西校廃校後は専門学校の誘致や、自然食品の店など、町の特産品を生かせないか。この事業はこれからの町にとって大切な事業となるので、住民参加で行ってほしいが。

A.地権者が200人以上もいて、30億以上かかる事業になる。推進室で調査検討する。住民参加はおおいに結構。参加してもらう体系を整えていく。

Q.今回平均で25％上がった健康保険税の苦情はなかったのか。

A.50件ほどあり、間違いではとか払えないとかがあった。

Q.非核都市宣言をしているのだから、もっと宣伝すべきではないか。

A.反核など平和団体へは今後も町で賛助する。

議席14番　斉藤　政雄　議員

Q.ふれあいの里幼稚園について

ふれあいの里幼稚園は、平成15年から平均280名の対象園児に対し50名から60名前後入園を繰り返してきている。20年度においても53名である。経費等は8千万円以上の経費を必要としている。土地借地料も年間130万円　以上、そして平成44年度までの借地の契約である。

平成19年において平成22年度末をもって廃園の準備をしてきたのに何故今回の定例議会において一年先送りの結論をだしたのか。平成17年度の答申においても平成18年・19年度においても行革委員会は平成22年度をもって廃園の答申をしてきたと思う。議会の声と言っても平成22年度末の廃園の準備と協議を万全にして来たと思う。ここで、3点（保護者への充分な周知徹底の必要性、今後の町の幼児教育と保育行政の在り方、跡地利用）についての考え方について

A.充分に周知できるように考えたい

A.保護者の方が安心して働ける環境づくりに努力する。

A.学童保育施設として利用したい

Q.期日前投票が年々定着しており投票時間の繰り上げを考えては

A.午前7時から午後6時までの2時間繰り上げについて検討する。

議席3番　渡邊　昇　議員

Q.選挙の期日前投票制度の活用で普通投票締め切りの繰上げについて

A.期日前投票の活用により、普通投票時間の繰上げができるかどうか、今後選挙管理委員会で検討して参りたいと考えているので、ご理解を頂きたい。

〔選管書記〕

Q.静小学校の駐車場の利用の仕方について、「小学校北側の町敷地の第二運動場（現在は、駐車場）であるが近所の幼児子供の遊び場の一部開放願いについて」

A.現在、駐車場の門扉については、通常は閉ざされている状態になっている。「近所の幼児子供の遊び場に一部開放しては」とのことであるが、現在は砕石が敷かれ駐車場になっていることから、遊び場としては危険性がある。遊び場として区切ってしまった場合、運動会等の駐車場が不足してしまう。また、学校敷地内の安全管理の上で自由に出入りできる状況は問題があると考える。

〔教育次長〕

議席7番　田山　文雄　議員

○学校給食について

Q.地産地消の拡充について、どのように進めていく考えなのか、又給食費の助成金を出して子育て支援をしている自治体もあるが当町の考えを伺いたい。

A.値段が少し高いが、使用数量が少ない場合は、地元産優先で採用している。平成20年度23％であったが、今年度は現在60％代、境町産は約半分となっている。助成金については、境町の財政状況から難しい。

〔給食センター所長〕

○学童保育について

Q.現在、茨城県下44市町村の583の児童クラブがある中で、383が学校の余裕教室、敷地を利用しているが、当町としても各学校を使っての利用をすべきと思うが、考えを伺いたい。

A.各小学校の空き教室については、現在、習熟度別学習の少人数教室や生活科室及び資料室等として利用、空き教室が無い。

〔教育長〕

○通学路の安全対策について

Q.特に境第一中学校付近に西南医療センターの駐車場の拡張や周りにアパートが増えたため、危険であると思うが、安全確保について当町の考えを伺いたい。

A.「交通安全母の会」の定期的な活動項目として点検が実施されている。

〔生活安全課長〕

議席5番　須藤　信吉　議員

○JT跡地について

Q.子育て支援センター建設計画及び医療モールの見通しについて、9月までに計画（子育て支援センター）が示せるように努力するとあったが。

A.子育て支援センター建設計画については、鈴木社長（ウエルシア）の体調不良で話し合いも進んでいなかったが、体調も良くなってきたので、この任期中に結論を出す。医療モールについては、テナント料無料にしてでもと、ウエルシアも積極的に勧誘に取組んでいるとのこと。

○染谷川改修維持管理について

Q.改修工事の進捗状況について

A.染谷川の計画延長は、2千315mで566mは改修済で用地取得も83・4％と予定通り進んでいる。

○維持管理（浚渫工事）について

A.県道若～境線上流部の浚渫工事は、家屋等が乱立しているため工事車両の搬入及び作業方法等を検討して早急に作業に入る予定です。

○No.189お知らせ版について

Q.臨時職員募集について、お知らせ版No.188（8月15号）は7月の議決後募集（2名）したが、No.189（9月1日号）は9月議会の議決前に募集（4名）したのは何故か。

A.今回は、緊急雇用創出事業の前倒しで募集するもので、茨城県からの強い要請によって期限（10月1日）迄に早急に実施するように通知を受けて募集したものである。